




一応供覧	文書分類		保存年限	13510永
議長	局長	書記	主任	担当
				

1号様式

令和7年2月12日

津南町議会議長 恩田 稔 様

議席番号 9番

議会議員 栗原洋子



一般質問の通告について

令和7年2月27日開会の第1回定例会に下記のとおり一般質問をしたいので、津南町議会会議規則第61条第2項の規定により通告します。

記

質問事項	質問の要旨	答弁を求める者
1、豪雪地帯の雪害対策を問う	<p>暖冬といわれたこの冬、豪雪となった。地球温暖化により更なる豪雪になるという説もある。</p> <p>①標高450m地帯にある気象庁アメダス積雪量も豪雪対策の基準に加えることを問う。</p> <p>現在の豪雪対策の数字は、役場・上郷・結東の3地点の平均積雪量とされている。そこには気象庁の観測点アメダスが入っていない。その標高450m地帯は津南原、赤沢台地から中子、所平、上野などがある。この地帯は津南の基幹産業である広大な農地があり多くの世帯が暮らしている。そこには牛舎、豚舎、農作業場、ユリハウスなど農業施設が数多くある。その地域をなぜ豪雪対策の基準に加えていないのか伺う。</p>	町長



②集落管理の消雪パイプの維持費軽減を問う。

人口減少と戸数の減少、更に高齢化で集落住民の負担が重くなっている。

また、集落の敷設ポンプの老朽化も進み多額な改修費となっている。

すでに集落からの要望も出ていると思うが、消雪パイプの電気料軽減策が必要ではないか。そこに町は補助するつもりがあるか伺う。

③豪雪時の農業施設維持管理費への補助をするつもりがあるか伺う。

④町の除雪援助事業と、上越市の除雪費助成制度について伺う。

上越市の除雪費助成制度は、多雪地帯と海岸部、市街地も含め全市1つの基準にし、家屋の屋根、玄関前、その他の日常生活上欠くことのできない場所、(下ろした屋根雪、車庫、納屋、作業場など)必要最小限の除雪作業に要する費用の一部を助成している。

助成額は、令和5年度から市内一律で1世帯7万2,100円を限度としている。

津南町は援助対象者となった要援護世帯へ除雪利用券3万1,500円分(3回分)を発行し地区民生児童委員から各世帯へ配布される。対象となる除雪は「生活の本拠である家屋の屋根雪、(作業所などは対象外)で避難路の確保、日常生

	<p>活に支障をきたす屋根からの落雪の除排雪」となっている。</p> <p>上越市のように（車庫・納屋・作業所など）も対象にすることなど、思い切った支援が必要だ。いかがか。</p>	
<p>2、介護医療院への問題点と安全対策を問う</p>	<p>私は津南病院の老朽化を指摘し建て替えを主張している。町は現在休床している3階の療養病床を廃止し、介護医療院に転換するとしている。建て替えを先延ばしにする為に、大規模改修、リフォームへと答弁が後退してきた。立て替え基金も創らないでいる。介護医療院のニーズはあるが、老朽化しているところに作るのは問題がある。</p> <p>①介護医療院はスタッフがいてこそやれる。本気で確保できると考えているか伺う。</p> <p>②緊急時、災害時の避難は現在1基しかないエレベーターを使用することに危機感はないのか。本当に入院患者を安全に避難させることが可能か。</p> <p>本気で介護医療院を設置するなら、患者、スタッフの命と安全を守るため先ずエレベーターの増設の検討を早急に行うことを提言する。</p>	<p>町長</p>

※質問項目が変わる場合は罫線で分割してください。

<p>3、ニューグリーンピア津南の現在の進捗状況と住民への説明時期を問う</p>	<p>①町と、(株)津南高原開発との契約が今年9月30日に満了を迎える。</p> <p>昨年8月、運営・管理支援業務委託料400万円、弁護士業務委託料200万円の委託費計600万円で県外事業者へ調査委託している。この業者との契約は3月31日迄である。これを延期することはないと考える。現在の状況を説明して頂きたい。</p> <p>②新年度予算に修繕費1億753万円をあげている。これ以上の財政支援は出来ないとして、外部業務委託し、方向性も決まらない中多額の税金を投入することは、今までの説明と矛盾しているのではないか、いかがか。</p> <p>③住民への説明が必要である。広大な土地を提供した住民と、観光の拠点としてなくしてはならないと思う住民の気持ちを考え、町はしっかり説明する責任がある。いかがか。</p>	<p>町長</p>
--	---	-----------

※質問項目が変わる場合は罫線で分割してください。

1号様式

令和7年 月 日